

令和2年度

萌える天北オロロンルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2021/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	風景との出会いの演出	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-	-	景観形成についての総括 ・今年度で7回目となった道北ルートで連携フォトコンテストは、過去のフォトコン作品を活用しフォトブックが発行された。課題として、フォトコン作品の活用や資金調達などがある。 ・ルート内のシーニックカフェでは、景食カフェ(留萌市)がハートランドカフェの屋号変更、とんがりかん(遠別町)が廃業のため、道の駅えんべつ富士見に再登録した。各カフェには「サイクリスト・応援プロジェクト」で製作したサイクルラックを設置した。 ・秀逸な道や船場公園周辺で、清掃・除草活動を実施した次年度も継続して活動し、徐々に活動の輪を広げていく予定である。
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-	-	
			シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和2年6月1日～9月30日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数57人・応募作品数282作品	A - 3	
			景観診断プロジェクト	-	-	-	-	
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-	
			るもい地域の観光・まちづくりの未来を語る勉強会(6.18石田先生PJ)	-	-	-	-	
			日本道路会議(ルート副代表がパネリストとして参加)	-	-	-	-	
			風景街道テーマ別意見交換会(風景街道の意見交換会に参加)	-	-	-	-	
			シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	8人	-	
			船場公園での除草・物販・啓発活動(道路協力団体)	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和2年9月25日～26日	10人(主催者側)	A - 2	
		秀逸な道清掃プロジェクト	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和2年7月7日	10人(主催者側)	A - 3		
		花とみどりの景観づくり	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-	-	
			菜種・ヒマワリクリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-	
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-	
		愛着と誇りの醸成	景観診断プロジェクト	-	-	-	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	--------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	
食	自然の恩恵である地元食材のブランド化と魅力の発信	地場製品の魅力づけ	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	食についての総括 ・今年度は、食をテーマとした活動は実施しなかった。 ・今後は、活動のテーマ自体も含めて、方向性を検討していく予定である。
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
		新メニューの企画	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
		地域ブランドの構築	ひらめ底建網オーナープロジェクト (食材オーナー制度プロジェクト)	-	-	-	-	
			ワークショップの開催	-	-	-	-	
			チカホでのシーニックPRイベントにて地域特産物の販売実施	-	-	-	-	
			萌天焼の開発プロジェクト	-	-	-	-	
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-	-	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	--------------	------------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括	
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	クリーンエネルギーのイメージづくり	菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロジェクト	-	-	-	-		環境保全についての総括 ・今年度も、ゴミ対策として、清掃活動や除草などの活動を実施した。また、道路協力団体として、沿道での物販活動を行うとともに、コミュニティラジオを活用した啓発活動も実施した。今後は、活動の時期や内容について再検討しながら、次年度も活動を展開する予定である。
			フォーラム開催プロジェクト	-	-	-	-		
			風景街道サミットinあさま(ルート代表がパネルディスカッションに参加)	-	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-		
		ゴミ対策の取り組み	船場公園での除草・物販・啓発活動(道路協力団体)	萌える天北オロロンルート 運営代表者会議	令和2年9月25日～26日	10人(主催者側)	A - 2		
			秀逸な道清掃プロジェクト	萌える天北オロロンルート 運営代表者会議	令和2年7月7日	10人(主催者側)	A - 3		
		身近な生態系の保全・復元	エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-	-		
			天塩イトウシンポジウム(共催)	-	-	-	-		
			天塩川でつなぐ・ひろがるプロジェクト	-	-	-	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志				報告年月日: 2021/3/31		
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括	
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号		
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	ロングドライブのサポート	景観診断プロジェクト	-	-	-		レクリエーションについての総括 ・レクリエーションの活動については、シーニックカフェとの連携による情報発信の展開に取り組むとともに、オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクトについては、道の駅やシーニックカフェでのステッカー・工具・ポンプ配布、バイクホテルの試行的設置等を行い、次年度はさらなるサイクリストの受入環境整備を推進していく。
			フォーラム開催プロジェクト	-	-	-		
			風景街道サミットinあさま (ルート代表がパネルディスカッションに参加)	-	-	-		
			萌天の森プロジェクト	-	-	-		
			情報受発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
		シーニックカフェの登録・カフェ連携	萌える天北オロロンルート 運営代表者会議	通年	8人	A - 4		
		身近なアウトドアの紹介	サイクリングイベントの周知協力活動	-	-	-		
	オロロンラインサイクリスト応援プロジェクト		萌える天北オロロンルート 運営代表者会議	通年	-	A - 5		
	各種カルチャー活動による交流	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-			
		流雪溝雪はねボランティア ツアーin 苫前	-	-	-			
		エゾカンゾウ植栽プロジェクト	-	-	-			
		菜種・ヒマワリ クリーンエネルギープロジェクト	-	-	-			
		よりみちの駅イベントでのシーニックPRイベント	-	-	-			
		ダウン・ザ・テッシン&石田先生招聘プロジェクト	-	-	-			
エコ・ツーリズムセミナー		-	-	-				

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート		報告者: 代表 西 大志					報告年月日: 2021/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2						
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
歴史・文化	先代の暮らしと新たな価値観を将来に伝え楽しむ	歴史資源の保全と活用	ワークショップの開催	-	-	-		歴史・文化についての総括 ・歴史・文化に関する活動としては、フォトコン作品の展示を実施した。留萌地域での暮らしについて、写真を通して伝えることができた。 ・歴史・文化を主眼とした取組み自体は実施していないが、今後、他の活動の拡大などを通して実施できればと考えている。
			情報発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
		次世代への歴史伝承	-	-	-	-		
		独自の生活文化の発見	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-		
			送り火フォトコンテストの開催	-	-	-		
		シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和2年6月1日～9月30日 (応募期間)	23人(主催者側)/応募者数57人・応募作品数282作品	A - 3		
全体	上記内容全体の方針に関わる活動		情報発信プロジェクト① ～冊子:Eezo～	-	-	-		地域づくりについての総括 ・情報発信についても、体制の見直しとともに、活動に変更があった。ルートのホームページを閉鎖し、新たに、Facebookを立ち上げて情報発信を進めている。 ・道をきっかけとした活動の展開など、進め方についても協議しながら、ルートの10年目を迎える第2ステージを形成していきたいと考えている。
			情報発信プロジェクト② ～オロロンマップの活用～オロロンさんぽみち	-	-	-		
			情報発信プロジェクト③ ～道の駅・シーニックカフェスタンプラリー～	-	-	-		
			情報発信プロジェクト④ ～オロロンドライブ情報～	-	-	-		
			情報発信プロジェクト⑤ ～萌か留た～	-	-	-		
			情報発信プロジェクト⑥ ～留萌管内観光アンケート～	-	-	-		
			ルートFacebookの運用	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	通年	-		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 代表 西 大志	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	--------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					総括
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
その他	道の駅るもい等の活性化に向けた有識者視察	萌える天北オロロンルート運営代表者会議	令和2年7月31日～8月1日	15名	A - 6	道の駅るもいが令和2年7月11日にオープンしたことから、石田東生筑波大学名誉教授に当駅をご視察いただき、道の駅るもい関係者・萌え天ルート担当者等で、意見交換会を実施した。また、翌日は日本海オロロンラインを自転車試走いただき、管内の地域振興への助言を賜った。	
	フィルムコミッションから学ぶ新たな観光開発事業(フォトコンテスト作品展示)	-	-	-			

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：秀逸な道清掃プロジェクト

【概要】 ルート内の秀逸な道として試行指定された国道232号沿いで、平成30年度から清掃活動に取り組んでいる。令和2年度ではローソク岩付近の海岸清掃もはじめて実施した。

【日時】 令和2年7月7日 13:00~15:00

【場所】 国道232号沿い（秀逸な道区間）

【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議

【協力】 留萌開発建設部

【参加人数】 活動従事者：10名

次の一手

景観診断を実施し、更なる景観改善メニューを更新



秀逸な道の区間



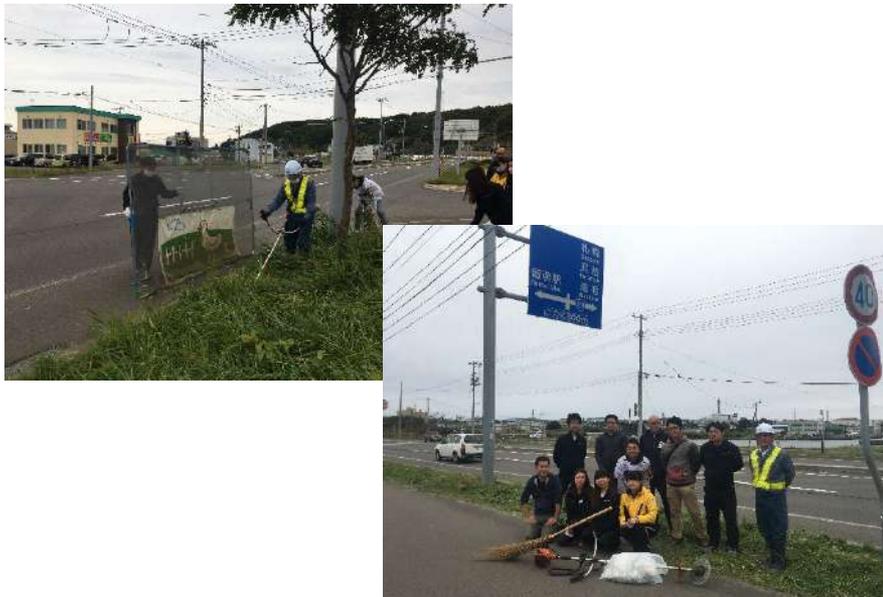
清掃活動の様子

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：船場公園での除草・物販・啓発活動（道路協力団体）

- 【概要】 道の駅るもい及びるしんふれ愛パーク手前の国道沿いで、道路協力団体として、施設手前の植樹樹の除草活動、地域特産品や農水産品の販売活動を実施した。
- 【日時】 令和2年9月25日～26日
- 【場所】 国道231号沿い（留萌市船場公園前）
- 【主催】 萌える天北オロロンルート運営代表者会議
- 【協力】 留萌開発建設部、（一社）シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 活動従事者：10名



除草活動の様子(令和2年9月25日)



物販活動の様子(令和2年9月26日)

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道北ルート連携フォトコンテストの開催

【概要】大雪・富良野ルート、宗谷シーニックバイウェイ、天塩川シーニックバイウェイの道北4ルートによる、ルートを跨いだフォトコンテストを実施した。今年度で7年目の開催であり、多様な作品が集まっており、パネル展示を実施している他、過去6年分約960点の作品の活用方法についても、フォトブックの制作を進めている。

【応募期間】令和2年6月1日～9月30日

【主催】シーニックバイウェイ北海道 道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会



令和2年度 萌える天北オロロンルート賞
【オロロンライン・夏】



萌える天北オロロンルート
Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway



令和2年度
入選作品(萌天内)

道北4ルート連携フォトブック
『写真で巡る北海道の旅(きた北海道編)』

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進

【概要】 ルート内の景観のすばらしい場所や飲食店を、シーニックバイウェイ推進協議会で統一的に広報活動を実施している「シーニックカフェ」として登録し、ルート内の景観のよい場所や施設を統一的にPRすることで、ブランド化に繋げることを目的として実施している。現在、ルート内に9カ所のカフェが設置されており、本年度は2件のカフェを再登録した。また、9箇所のカフェには「オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト」で製作したサイクルラックを設置した。



【登録数】 シーニックカフェ9カ所（令和2年10月現在）

<登録先カフェ> ※赤字2箇所 R2 再登録

- ・喫茶ポルク（増毛町）
- ・千望台レストハウス
⇒**ハートランドカフェ（留萌市）**
- ・ふなばカフェ（るしんふれ愛パーク内：留萌市）
- ・からくれ（小平町）
- ・ラウンジWildmill（道の駅風Wとままえ内：苫前町）
- ・TIARA（羽幌町）
- ・レストラン北極星（初山別村）
- ・道の駅富士見レストランとんがりかん
⇒**道の駅えんべつ富士見（遠別町）**
- ・てしお温泉夕映レストラン（天塩町）



ハートランドカフェ(留萌市)



道の駅えんべつ富士見
(遠別町)

設置したサイクルラック



からくれ(小平町)



喫茶ポルク(増毛町)



TIARA(羽幌町)

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

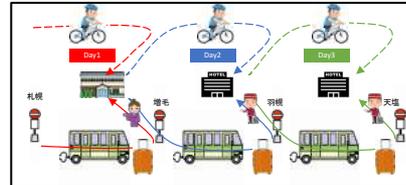
活動名：オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト

【概要】手ぶらサイクリングやバイクホテルをパッケージとして提案することで、ライト層を含めた来訪サイクリスト層の拡大と来訪者数の増加や、サイクリストによる観光消費の促進、「オロロンライン・ファン」の創出を目的とし、①オロロンラインサイクリスト応援キャンペーン、②手ぶらサイクルの検討、③バイクホテルの試行的設置、④手ぶらサイクルとバイクホテルをセットにした旅行パッケージの検討を行った。

オロロンラインサイクリスト 応援キャンペーン



手ぶらサイクルの検討



バイクホテルの試行的設置



手ぶらサイクルとバイクホテルを セットにした 旅行パッケージの検討



取組 内容

- 道の駅やシーニックカフェでのステッカー・工具・ポップ配布
- 道理維持業者との連携

- 3案のモデルルートを検討
- 沿岸バスとの打合せ（R1年11月5日）

- 管内宿泊施設のバイクホテル化

- コササルとの打合せ（R1年11月22日）

成果

- 管内道路維持業者7社の道路パトロールカーに搭載完了
- WS形式でのラック製作・配布

- 有人営業所（羽幌町本社BT）留めの「小荷物輸送」で了承を得られた。

- 天塩町「夕映」「サンホテル」にて室内サイクルラックの取り付けが完了

- 留萌市内の旅行会社との協議の結果、手ぶら観光の受注受付を担うことので了承を得られた。

今後の 課題

- R2年度夏季を試行期間として、利用状況調査を展開
- サイクリスト受入勉強会の開催とオロロンラインサイクリステーション拡大

- 有人営業所から宿泊施設までの羽幌町内の輸送手段や他市町村での輸送手段を継続検討する。

- 天塩町の事例をもとに、管内の他の宿泊施設にてバイクホテル化を拡大していく。

- 観光MaaS（マース）アプリなどの展開では、コスト面での課題に対応するため、手ぶら観光先行地などの先事例研究が必要

萌える天北オロロンルート

Moeru Tempoku Ororon Scenic Byway

活動名：道の駅るもい等の活性化に向けた有識者視察

【概要】道の駅るもいが令和2年7月11日にオープンしたことから、石田東生筑波大学名誉教授に当駅をご視察いただき、道の駅るもい関係者・萌え天ルート担当者等で、意見交換会を実施した。また、翌日は日本海オロロンラインを自転車試走いただき、管内の地域振興への助言を賜った。

①道の駅るもい視察・石田東生先生を囲む勉強会の開催

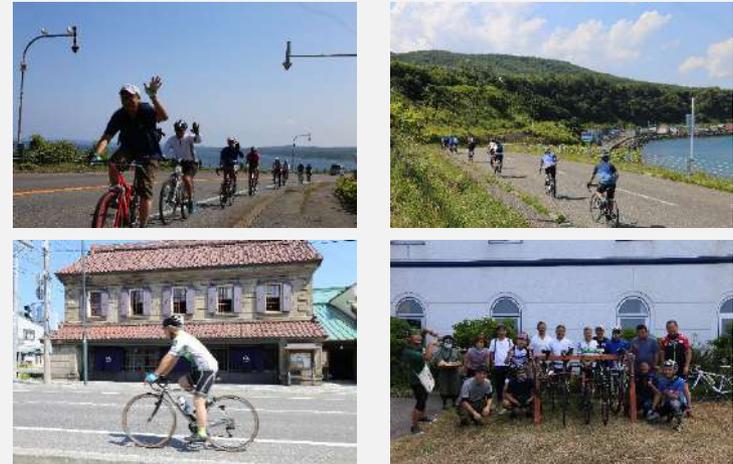


実施日：令和2年7月31日

内容：道の駅るもい視察、意見交換会

参加者：石田東生先生、留萌市、FMもえる（道の駅るもい指定管理者）、株式会社コササル（管内旅行会社）、萌える天北オロロンルート、北海道開発局

②日本海オロロンライン 自転車試走



実施日：令和2年8月1日

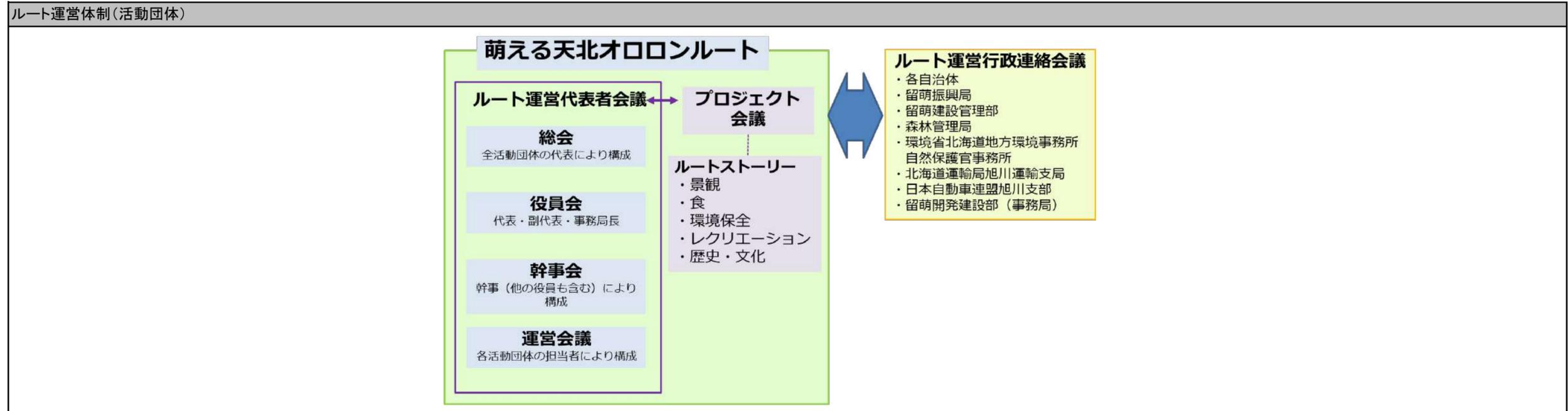
内容：日本海オロロンライン 自転車試走

参加者：石田東生先生、留萌市、石狩市・増毛町・新篠津村（石狩北部・増毛サイクルツーリズム推進協議会）、FMもえる（道の駅るもい指定管理者）、株式会社コササル（管内旅行会社）、フリーメカニック（地元自転車整備士）萌える天北オロロンルート、北海道開発局

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 萌える天北オロロンルート 代表 西 大志	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	---------------------------	------------------

活動団体 増毛町観光協会、豊かな森川海人をつくる増毛実行委員会、一般社団法人留萌青年会議所、NPO法人留萌観光協会、小平町観光協会連合会、小平町商工会、NPO法人天塩川を清流にする会、萌天サポーターズクラブ、苫前町まちづくり企画、桜並木を作る会、一般社団法人マッチワークス 全11団体



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議(総会)		● 5/19~5/27											ルート運営代表者会議(総会)はコロナ禍のため、書面総会を実施。このほか、事務局打合せを適宜実施。
役員会	● 4/17			● 7/17			● 10/9				● 2/1		
幹事会			● 6/24								● 2/4		
運営会議			● 6/24								● 2/4		
その他会議等				● 7/1 代表者会議			● 10/28 ブロック会議(留萌)	● 11/13 推進協議会					

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月日: 2021/3/31
---------------------	--------------	------------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施													会議体としての実施はせず、各自治体を個別訪問し、制度や取り組みを説明。

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 萌える天北オロロンルート	報告者: 留萌開発建設部	報告年月: 2021/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和元年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	愛着と誇りを持てる郷土の景観の保全と創出	「道北ルート連携フォトコンテスト」の作品巡回パネル展による広報活動 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和2年7月1日～9月7日、令和2年10月29日～12月11日、令和2年12月23日～令和3年1月4日	留萌開発建設部、留萌市、遠別町、羽幌町	「道北ルート連携フォトコンテスト」応募作品の巡回パネル展を道の駅るもい(留萌市)、道の駅えんべつ富士見(遠別町)、道の駅サンセットプラザはぼろ(羽幌町)、道の駅ほつとはぼろ(羽幌町)、トナカイホワイトフェスタ(幌延町)にて開催し、広報活動に協力した。今後も、継続してルートの活動を広く周知することが必要。	地域景観の紹介や地域景観づくりの継続した取り組みが定着している。 今後も、効果的なPRや、取り組みを地域全体に展開できる体制作りを進めたい。	A-3
		「道北ルート連携フォトコンテスト」の開催 主催:シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト実行委員会	令和2年6月1日～9月30日	留萌開発建設部	シーニックバイウェイ道北ルート連携フォトコンテスト2020の開催にあたり、会議・審査会への参加及びフォトコンテストの活動周知に協力した。引き続き、作品の活用やフォトコンテスト開催に関する周知が必要。		A-3
環境保全	地球に優しい「くらしぶり」のお手本づくりと促進	秀逸な道清掃プロジェクトでの清掃活動	令和2年7月7日	留萌開発建設部	秀逸な道区間での清掃活動を通して、沿道のゴミの実態を知り、美化への認識が深まった。今後も継続した取り組みが必要であり、活動の定着が必要。	清掃活動の実施を通して、沿道の美化への認識を深めることができた。今後も継続的、発展的に実施できるように、協力したい。	A-1
		船場公園での除草・物販・啓発活動	令和2年9月25日～26日	留萌開発建設部	道路協力団体として、除草・物販・啓発活動を実施した。活動時期を早めに設定するとともに、継続した活動が必要。		A-2
レクリエーション	暮らしに根ざしたもてなしによる暖かい交流の魅力づくり	シーニックカフェの登録・カフェ連携の推進	通年	留萌開発建設部	2件のカフェを再登録した。また、管内道の駅、9箇所のカフェには「オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト」で製作したサイクルラックを設置した。活動を通して、ルート全体の魅力向上につなげるための仕組みづくりと意識共有が課題。	シーニックカフェとの連携を通して、地域資源の磨き上げやより道スポットを紹介し、滞在型観光を後押しするとともに、セミナーの開催等を通して、地域内の人材育成も強化し、交流人口の拡大、観光振興を深めた 管内の道路維持業者に工具や空気を積載する等一定の成果はあったので、今後もサイクリスト受入環境向上に向け道路管理者者として協力できることは協力する。	A-4
		オロロンライン・サイクリスト応援プロジェクト	通年	留萌開発建設部	ライト層を含めた来訪サイクリスト層の拡大と来訪者数の増加を目的としたサイクリング受入環境の向上事業が新規事業として始動し、事業の助言等を行った。R3年度は管内のサイクルステーションの拡大に協力していきたい。		A-5
全体	景観、食、環境保全、レクリエーション、歴史・文化全体の方針に関わる活動	萌える天北オロロンルートFacebookページのリンク	通年	留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町、留萌開発建設部	ルートの認知度向上を目的として、ルートのFacebookページと留萌開発建設部及び各自治体のホームページをリンクして連携した広報活動を行った。	まちづくり、地域づくりをテーマとしたルートの様々な活動は、継続した取り組みにより地域内外に浸透している。 今後も、Facebook等のツールを有効に活用し、ルート活動や地域資源のPR活動を進めたい。	